

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法概論Ⅱ		講義	中田 修・嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
20 時間（1 単位）		10 回	3 年次	通年
授業の目的・概要				
この授業では作業療法士として必要な調査・研究の意義と必要性を、個々に実習で経験した対象者について発表することを通して学ぶ。さらに作業療法士として病院や施設などに勤務する上で知っておくべき関連法規や制度について過去に出題された国家試験問題をふまえて理解する。また臨床実習での経験を踏まえた演習を通して臨床現場でMTDLPを実践的に使えることをめざす。				
授業の到達目標				
1. 作業療法における研究の意義を説明できる 2. 他者に解りやすいプレゼンテーションを行う事ができる 3. 臨床現場で求められる関連法規や制度について説明できる 4. 実習で経験した対象者について生活行為アセスメント演習シートを作成できる				
授業計画				
回	内容			
1	作業療法研究法：研究の基礎（中田）			
2	関連法規1：理学療法士及び作業療法士法、精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律（中田）			
3	関連法規2：医療観察法、介護保険法（中田）			
4	その他関連制度：感染症対策、リスクマネジメント（中田）			
5	症例発表会1（中田）			
6	症例発表会2（中田）			
7	症例発表会3（中田）			
8	症例発表会4（中田）			
9	MTDLP演習Ⅰ（嘉納）			
10	MTDLP演習Ⅱ（嘉納）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	30%	症例発表会ワークシートの内容で評価する		
小テスト				
平常点	50%	授業参加態度、出欠状況で評価する		
その他	20%	MTDLPの演習結果プリントの内容で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	教科書は特に指定しない。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
事例で学ぶ生活行為向上マネジメント	日本作業療法士協会		医歯薬出版	
作業療法マニュアル57 生活行為向上マネジメント	日本作業療法士協会		日本作業療法士協会	
自由記載				
備考				